

「テレビ会議」と「WEB会議」、そして「Microsoft Teams Rooms」

遠隔地と音声や映像をやり取りするシステムの先駆けとして、多くの企業に導入されている「テレビ会議システム」。専用機材と専用回線を用いて、遠隔地とコミュニケーションをとることができます。

また、働き方改革や新型コロナの流行で急激に普及したのは、既存のPCとインターネット回線を用いて遠隔地と会議を行うMicrosoft Teamsなどの「WEB会議システム」です。比較的手軽に、そして安価に導入できます。

さらに昨今では、WEB会議システムの中でも、出社とリモートを組み合わせたハイブリッドワークに対応したソリューションとして「**Microsoft Teams Rooms**」が注目されています。

	テレビ会議	WEB会議	
		Microsoft Teams など	Microsoft Teams Rooms
			
利用するデバイス・回線	<ul style="list-style-type: none"> 会議室などに設置した専用機器 専用回線で接続 	<ul style="list-style-type: none"> 個人のPCやスマホなど インターネット回線で接続 	<ul style="list-style-type: none"> 会議室などに設置した専用機器 インターネット回線で接続
利用できる場所	<ul style="list-style-type: none"> 専用機器を設置した場所 専用回線で接続した場所 	<ul style="list-style-type: none"> インターネットが繋がる場所 	<ul style="list-style-type: none"> 専用機器を設置した場所 インターネットが繋がる場所
導入コスト	<ul style="list-style-type: none"> 専用設備が必要なため導入コストは高額 メンテナンス費用もかかる 	<ul style="list-style-type: none"> 既存のPCを使用するので、初期費用がかからない ライセンスが必要（プランによって金額が異なる） 	<ul style="list-style-type: none"> 専用機器が必要なため初期費用がかかる ライセンスが必要（プランによって金額が異なる）
主な利用シーン	<ul style="list-style-type: none"> 社内会議 多人数が複数拠点の会議室に集まる会議 重要度・機密性の高い役員会議など 	<ul style="list-style-type: none"> 社内会議 取引先との会議 個人同士の会議 	<ul style="list-style-type: none"> 社内会議 取引先との会議 複数人（会議室）対個人（リモート）の会議 多人数が複数拠点の会議室に集まる会議 重要度・機密性の高い役員会議など
メリット	<ul style="list-style-type: none"> 専用回線で安定した通信 映像や音声の品質が高い セキュリティリスクが低い 	<ul style="list-style-type: none"> 低コストで手軽に導入できる インターネットが繋がる場所ならどこでも会議ができる チャットや画面共有など機能が豊富 	<ul style="list-style-type: none"> チャットや画面共有など機能が豊富 会議室参加者も、リモート参加者も同じ空間にいるかのように会議ができる 映像や音声の品質が高い セキュリティリスクが低い
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> 初期費用、ランニングコストがかかる 専用機器と専用回線のある場所としか会議ができない 映像と音声のやりとりが基本で、リアルタイムに資料投影などは難しい 	<ul style="list-style-type: none"> 通信の品質は、インターネット環境に左右される 映像や音声の品質が最低限なので会議がスムーズに進まないことがある 複数人で参加する会議には向いていない 	<ul style="list-style-type: none"> 初期費用、ランニングコストがかかる 通信の品質は、インターネット環境に左右される